

児童発達支援・放課後等デイサービスone

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援・放課後等デイサービス）

○事業所名	one		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 1日	～	令和8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数(放課後等デイサービス)	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○保護者評価有効回答数(児童発達支援)	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 1日	～	令和8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小集団、個別対応などさまざまなケースに対応できる施設内の生活空間。	視覚的な制限を設けることで、短時間でも集中しやすい環境作りに意識している。	専門的支援実施に対して各職員のスキルアップ、提供できる支援方法の増加、個々の個性に合わせた支援の提供。
2	職員それぞれが立案、実施し提供していく活動プログラム。	職員の、強み・特色・関係性などを活かした活動を計画し、土台となる活動はもちろん、子どもたちの挑戦につながる活動の提供も行っている。	活動の計画性、安全性にもより配慮し、子どもたちの満足感、達成感につながるような活動を計画していく。
3	子どもたちの“挑戦”を全面的にバックアップできる支援体制。	保護者の希望、子どもたちの苦手に対して、どんな方法なら挑戦し、そこから成功体験に繋げていけるかを常に考え、日々の生活の中に取り入れている。	個別支援計画の内容を基本とし、全職員が把握したうえでそこからさらに子どもたちの飛躍、成長につながる支援を職員全体で日々考え実践に取り組んでいく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	計画的な地域交流や、保育園、幼稚園、学童クラブとの交流の機会が多く計画されていない。	参加できる地域交流の場を見つけきれしていない。	公園などで自然と一緒に活動することはあるので、計画して活動を予定していきたい。
2	保護者に対し、研修や勉強会の開催を今まで以上に提供していきたい。	保護者会としてイベントへの参加はあるが、研修会、勉強会となると参加に抵抗があるかもしれない。	日頃より保護者と良好な関係を目指し、互いに成長していける機会になるように、促しを行っていく。
3	SNS等での活動概要や行事予定、活動内容（報告）について、保護者の認知が低い。	見る機会がない、媒体を利用していない方も多い。	instagramなどを通して日々の活動を配信している事実を知ってもらう取り組みや案内を行う。